

業績目録

(令和元年度～令和3年度)

学長 渡邊弘

著書

- (1)『世界が求める創価の人間教育』第三文明社、2020年11月。共著
- (2)『宮城まり子とねむの木学園』潮出版社、2021年2月。単著
- (3)『創価教育と人間主義』第三文明社、2021年6月。単著

学術論文

【単著】

- (1)「日本人の倫理観の変遷（その1）～江戸時代から明治時代まで～」作大論集第10号、2020年3月。単著
- (2)「日本人の倫理観の変遷（その2）～夏目漱石晩年の講演録にみる明治後期から大正初期の倫理観を手がかりとして～」作大論集第11号、2020年8月。単著
- (3)「言語教育の視点からの学校における道德教育の役割について」（『道德の授業で、学習者の『切実さ』を問題化する』研究成果報告書集録、一般財団法人言語教育振興財団所収）、2020年10月。単著
- (4)「現代における『対話』の問題～根本としての人間観と目的観～」(『道德科の授業において子供の思考を言語化するために～話し合い活動・発問の工夫を通して～』研究成果報告書集録、一般財団法人言語教育振興財団所収)、2021年3月。単著

【共著】

- (1)小学校（高学年）から中学校への内容項目の連携に関する一考察」作新学院大学教職実践センター紀要第8号、2020年3月。共著

【その他】

- (1)「常に『学ぶ側』の視点に立つ池田会長の教育思想」潮出版社、2019年8月。単著
- (2)「SGIの日」記念提言に寄せて、2020年3月。
- (3)インタビュー『ダメな子は一人もいない～宮城まり子とねむの木学園を追って』潮出版社発行 pumpkin、2021年3月。
- (4)『宮城まり子さんの言葉を胸に』NPO法人チャイルドラインとちぎ広報誌、2021年7月。
- (5)インタビュー『今、なぜ創価教育なのか』聖教新聞、聖教新聞社、2021年8月7日。

社会的活動

【各種委員】

- (1)宇都宮市人間力向上フォーラム実行委員会顧問（2014年4月～現在）

- (2)栃木県連合教育会評議員 (2014年4月～現在)
- (3)宇都宮市うつのみや文化創造財団評議員 (2012年4月～現在)
- (4)とちぎ道德教育実践学会会長 (2013年6月～現在)
- (5)光村図書出版株式会社道德中学校副読本【栃木版】編集顧問 (2013年4月～現在)
- (6)光村図書出版株式会社道德中学校副読本【全国版】編集員 (2013年12月～現在)
- (7)平成27年度大田原市いじめ問題対策推進委員会会議(副委員長) (2015年7月～現在)
- (8)陸上自衛隊東部方面隊オピニオンリーダー (2017年4月～2020年3月)
- (9)大学コンソーシアムとちぎ(理事) (2017年4月～現在)
- (10)栃木 SC 諮問委員会委員 (2018年4月～現在)
- (11)矢板市立小中学校配置検討委員会委員 (2018年6月～2019年3月)
- (12)宇都宮市教育委員会評価委員会議委員 (2018年7月～2020年3月)
- (13)宇都宮ロータリークラブ米山記念奨学金委員会委員 (2018年7月～現在)
- (14)大関作新館賞実行委員会委員 (2019年9月～現在)
- (15)宇都宮市教育委員会通学区域審議会委員 (2020年7月～現在)
- (16)学校法人ねむの木学園理事 (2020年7月～現在)
- (17)宇都宮市総合計画市民懇談会委員 (2021年11月26日～現在)

【講演・講話等】

- (1)作新学院中等部研修会講話、2019年8月1日。
- (2)宇都宮市立旭中学校「職業人に学ぶ」講話、2019年11月16日。
- (3)那須地区中学校教育研究会道德部会授業研究会講話、2019年11月25日。
- (4)宇都宮市立宮の原中学校「職業人に学ぶ」講話、2020年1月30日。
- (5)第23回道德教育合同研修会シンポジウム(司会)、2020年2月2日。
- (6)開倫ユネスコ協会世界哲学の日講演「人間教育のすすめ」、2020年11月19日。
- (7)日本善行会宇都宮支部研修会「宮城まり子とねむの木学園」～愛が愛を生んだ軌跡～、2021年6月12日。
- (8)創価大学オンライン開催第1回学部研究会「宮城まり子とねむの木学園」～教育思想の観点から～、2021年6月25日。

【表彰】

- (1)日本善行会賞秋季善行表彰 一般社団法人日本善行会、2021年12月10日。

船田教育会特別顧問 太田周

学術論文

- (2)〔共著〕

題 目：First Detection of sub-PeV Diffuse Gamma Rays from the Galactic Disk:

Evidence for Ubiquitous Galactic Cosmic Rays beyond PeV Energies

掲載雑誌名：Phys. Rev. Letter. American Physical Institute（アメリカ物理学会）

掲載年月日、巻（号）、頁：126, 141101 – Published 5 April 2021.

共著者名：M.Amenomori, M.Ohnishi, M.Takita, I.Ohta, L.K.Ding, J.Huang, et al,
(The Tibet AS γ Collaboration)

論 旨：Abstract

We report, for the first time, the long-awaited detection of diffuse gamma rays with energies between 100 TeV and 1 PeV in the Galactic disk. Particularly, all gamma rays above 398 TeV are observed apart from known TeV gamma-ray sources and compatible with expectations from the hadronic emission scenario in which gamma rays originate from the decay of π_0 's produced through the interaction of protons with the interstellar medium in the Galaxy. This is strong evidence that cosmic rays are accelerated beyond PeV energies in our Galaxy and spread over the Galactic disk.

論説

(2) [共著]

題 目：チベット高原に宇宙線を追うー日中宇宙線観測共同研究ー

掲載雑誌名：東京大学宇宙線研究所アーカイブス（東京大学宇宙線研究所）

掲載年月日、巻（号）、頁：2022年1月、pp1-82.in press

編纂委員名：荒船次郎(1) 大西宗博(2) 笠原克昌(3) 梶田隆章(2) 柴田楨雄(4)

瀧田正人(2) 鳥居祥二(5) 堀田直己(6) 中村健蔵(7) 西村 純(1)

村木 綏(8) 湯田利典（1故人） 太田 周（6、9委員長）

(1)東京大学名誉教授、(2)東京大学、(3)芝浦工業大学名誉教授、

(4)横浜国立大学名誉教授、(5)早稲田大学招聘研究教授、

(6)宇都宮大学名誉教授、(7)高エネルギー加速器研究機構名誉教授、

(8)名古屋大学名誉教授、(9)作新学院大学・同女子短期大学部名誉教授

社会的活動

(1)内閣府認証 特定非営利法人（NPO 法人）学生文化創造 顧問（2021年4月～）

(2)とちぎテレビ 番組審議会 委員（2017年4月～）

(3)東京大学宇宙線研究所アーカイブス編纂委員（2019年10月～）

船田教育会顧問 春日正男

学術論文、国際会議論文（査読付き）

無し

国際シンポジウム (査読無し)

2020年度

- (1)春日正男：シニア・女性の活躍拡大を夢見る光輝会の活動に向けて、JSS (Japan Security Summit) 2020 & 電子情報通信学会光輝会特別研究会ジョイントシンポジウム (2020.09).
- (2)春日正男：「生涯活躍」を目指す学際融合研究：感性工学の醍醐味、JSS (Japan Security Summit) 2020 & 電子情報通信学会光輝会特別研究会ジョイントシンポジウム (2020.10).

研究会、学会での口頭発表

2019年度

- (1)木通隆行、池田亜沙美、安田晴剛、春日正男：ことばのイメージを表現する技術 – ことばが表わすイメージの感性的印象を伝える「音相」の概念紹介とその社会的効用に関する研究 –、映像情報メディア学会メディア研究委員会 [特別講演] (2020.02)

その他

- (1)2020年度大学を超えた共同研究プロジェクト事業：アントレプレナー研究プロジェクト

- ・研究連携大学：宇都宮共和大学、作新学院大学、文星芸術大学、帝京大学・宇都宮キャンパス
- ・プロジェクト名：創造都市・宇都宮都市圏を目指す地域活性化研究プロジェクト
- ・プロジェクトリーダー：作新学院大学：春日正男
- ・サブリーダー：宇都宮共和大学：西山弘泰
- ・プロジェクトメンバー：
 - ・渡邊瑛季 (宇都宮共和大学 シティライフ学部講師)
 - ・山田卓徳 (作新学院大学 事務局長)
 - ・長島重夫 (文星芸術大学 地域連携センター長)
 - ・乾泰典 (帝京大学宇都宮キャンパス 地域連携担当プロジェクトリーダー)
 - ・大木優一郎 (大谷石材協同組合 事務局長)
 - ・坂本明 (宇都宮市文化財ボランティア協議会 副代表)
 - ・浅野裕子 (一社 スリーアクト代表理事)
 - ・関連自治体・経済団体等：宇都宮市、宇都宮市まちづくり推進機構、宇都宮商工会議所、とちぎユースサポーターズネットワーク

- (2)第18回学生&企業研究発表会：大学コンソーシアムとちぎ主催 (発表:2021年11月)

- ・応募者：宇都宮市創造研究センター プラットホーム共同研究プロジェクトチーム、宇都宮大学

(プロジェクト大学：宇都宮共和大学、作新学院大学、文星芸術大学、帝京大学宇都宮キャンパス)

【金賞】

「宇都宮をスマートで創造的な街にしよう」～LRT×路線バス オリジナルアプリの開発～
代表：趙 志浩 (帝京大3年)、メンバー：佐藤雅哉 (宇都宮共和大2年)・中野文華 (作新学院大3年)・山内祥輝 (作新学院大2年)・碓氷瑞紀 (文星芸術大2年)・北條結衣 (宇都宮大4年)・西田聖梧 (宇都宮大4年)

【あしぎん賞】

「田川活性化プロジェクト」～昼は楽しく夜も明るい文化・創造都市宇都宮～
代表：安野巧真 (作新学院大3年)、メンバー：宇梶宏海 (宇都宮共和大2年)・菊地円樺 (宇都宮共和大2年)・中野文華 (作新学院大3年)・碓氷瑞紀 (文星芸術大2年)

【鹿沼相互信用金庫理事長賞】

「とちぎから社会の若きリーダーを生み出す～」学生・若者のチャレンジ応援コミュニティづくり～
代表：山内祥輝 (作新学院大2年)、メンバー：斉藤陽夏 (文星芸術大2年)

社会活動

- (1)うつのみや次世代産業イノベーション推進会議会長 (2013年8月28日～現在に至る)
- (2) (一社) 電子情報通信学会 光輝会特別研究専門委員会委員長 (2020年4月1日～現在に至る)
- (3) (一社) セキュア IoT プラットフォーム協議会光輝研究会副会長 (2020年10月1日～現在に至る)

経営学部 教授 天尾久夫

著書

- (1)『銀行の破たん史—日本の金融機関に係わる公的費用負担再生の特徴と諸問題—』天尾久夫：幻冬舎 (2021年9月8日) 301ページ

学術論文

- (1)天尾久夫「日本の地域金融機関の破たんと再生過程とその公的費用負担についての研究—地域金融のバブル期、デフレ不況期、そして平成を越えて—」博士論文 2018年3月19日

学協会誌論文 (査読無し)

- (1)「法人統計から見た金融機関の貸出行動の分析」天尾久夫 作新学院大学『作大論集』第7号 299～349ページ 2018年3月
- (2)「トランザクションバンキングを指向する銀行の抱える経営の諸問題についての一考

- 察」 天尾久夫 作新学院大学『作大論集』第8号 152～178ページ 2019年3月
- (3)「消費増税とマネー拡張政策との関係についての一考察」 天尾久夫 作新学院大学『作大論集』第10号 97～111ページ 2020年2月
- (4)「日本のオリンピック誘致後の経済的影響の一考察 —アメリカとの比較—」 天尾久夫 作新学院大学『作大論集』第11号 89～110ページ 2020年8月
- (5)「中国、ブラジル、イギリスのオリンピック誘致の経済的影響の一考察 —中国、ブラジル、そしてイギリスとの比較—」 天尾久夫 作新学院大学『作大論集』第12号 85～101ページ 2021年2月
- (6)「コロナ禍のもと、日本国内の消費の現況についての一考察 —コロナ下と雇用調整助成金の施策による家計消費への影響の推計—」 天尾久夫 作新学院大学『作大論集』第12号 139～153ページ 2021年2月
- (7)「気候変動リスクに対する金融機関の規範についての一考察 —TCFD提言と金融部門、ESG融資とSDGsと地域金融機関—」 天尾久夫 作新学院大学『作大論集』第13号 2022年2月

口頭発表論文（研究会等）

- (1)「信金中央金庫の研究」 天尾久夫 故和合肇先生追悼記念コンファレンス 松島センチュリーホテル 2017年3月
- (1)地方財政研究会 理事（2001年4月1日～現在に至る）
- (2)宇都宮市公金管理運用相談員（2017年4月1日～現在に至る）

経営学部 准教授 中川仁美

著書

- (1)簿記のテキスト：創成社 2020年5月20日 総113頁 村田直樹、野口翔平、竹中徹、沼恵一、菅森聡、相川奈美、麻場勇佑
- (2)簿記の問題集：創成社 2020年5月20日 総113頁 村田直樹、野口翔平、竹中徹、沼恵一、菅森聡、相川奈美、麻場勇佑
- (3)会計学ハンドブック：創成社 2021年5月20日 総184頁 村田直樹、野口翔平、工藤久嗣、大槻晴海、菅森聡、相川奈美、麻場勇佑、小川華代、沼恵一

学術論文

- (1)企業の社会的責任と地域社会への貢献—会計学における多階化した重層性—：作新学院大学経営学部研究紀要 第12号 2021年2月 pp.118-123

学会での口頭発表等

- (1)郵便事業の現状とデジタル時代の郵便サービス：一般社団法人通信研究会調査研究報

告 2020年 2月25日

(2)19世紀におけるアメリカ鉄道会社の発展：鉄道史学会第39回大会 2021年11月27日

社会的活動（自治体・産学界・NPO・NGO等の活動）

(1)一般社団法人通信研究会 郵政事業戦略研究プロジェクトチーム（2019年3月1日～2021年3月31日）

(2)栃木労働局公共調達監視委員会 栃木労働局公共調達監視委員（2021年8月1日～現在に至る）

経営学部 准教授 山下裕介

著書

（分担執筆）

(1)第15章「企業倫理の基本問題」百田義治編著『現代経営学の基本問題』中央経済社、2020年9月、pp.198-208。

学術論文

(1)「消費者庁設置構想をめぐる論争の研究」駒澤大学経済学会『経済学論集』第50巻第4号、2019年2月、pp.17-34。

学会での口頭発表等

(1)「消費者庁設置構想をめぐる論争の研究」日本経営学会関東部会7月例会、2019年7月20日（日本大学経済学部）

(2)「公的規制とCSR・企業倫理—消費者庁と生活者（消費者）市民社会—」日本比較経営学会・企業経済研究会合同研究会『「CSRをめくって」シンポジウム』2019年12月25日（東洋大学）

(3)「消費者庁とCSR・企業倫理—包括的なCSR・企業倫理行政を実現する体制・制度の検討—」日本経営学会第94回大会自由論題報告、2020年9月4日（慶應義塾大学開催・オンライン大会）*関東部会理事会よりの推薦で報告実施

経営学部 特任准教授 畠山啓

学術論文

「不祥事の原因・背景に対する認識の変化—株式会社SUBARUにおける一連の完成検査問題を事例に一」『総合文化研究所紀要』同志社女子大学総合文化研究所 2019年7月第36巻 pp.80-91

経営学部 講師 今宿裕

学術論文

- (1)学校運動部活動の効果に関する研究の変遷と課題：体育学研究 2019年6月 第64巻 第1号 pp.1-20 今宿裕・朝倉雅史・作野誠一・嶋崎雅規
- (2)中学生のライフスキルと運動部所属との関連－家庭要因を考慮した階層的重回帰分析－：作大論集 2021年8月 第13号 pp.199-214 今宿裕・朝倉雅史・作野誠一・嶋崎雅規

人間文化学部 教授 小黒浩司

著書

1. 編・解題『図書館用品カタログ集成 戦後編』金沢文圃閣（2019年3月）2冊 文圃文献類聚 54
2. 分担執筆『図書・図書館史：図書館発展の来し方から見えてくるもの』三浦太郎編著 ミネルヴァ書房（2019年8月20日）289p 講座図書館情報学 12
3. 編・解題『近代日本製本関係雑誌集成 1：大正・昭和初期編』金沢文圃閣（2019年9月～2021年4月）7冊 文圃文献類従 72
4. 共著『図書館と読書の原風景を求めて』青弓社（2019年11月22日）270p 共著者：小川徹、奥泉和久
5. 単著「占領期図書館統制の研究：映画篇」『図書館文化史研究』No.38(2021年9月25日) pp.27-66

学会での口頭発表等

1. 「戦前期銅製書架・積層書架の残存状況」日本図書館文化史研究会2018年度第3回研究例会 2019年3月16日
2. 「台湾総督府時代の佐野友三郎補遺：秋間玖磨と笹岡民次郎のこと」日本図書館文化史研究会2020年度研究集会 2020年9月19日

社会的活動

1. 宇都宮市教育委員会「[宇都宮市読書活動推進計画]等に係る参考人」（2014年4月～2020年3月）
2. 日本図書館文化史研究会代表（2017年4月～現在に至る）

人間文化学部 教授 玉城要

学術論文

共著

- 川原健太郎、玉城要「課題提示型授業に関する実証的研究」、[作大論集]第13号、作新

学院大学作新学院大学女子短期大学部、2021年8月、pp.53-68。

人間文化学部 教授 牧裕夫

著書

- (1)福祉分野に生かす個と家族を支える心理臨床：(共著) (『計画』と『実践』に対する3相システムの提案』担当) 日本家族心理学会 金子書房 (2019年)
- (2)障害者職業カウンセラー厚生労働大臣指定講習テキスト第3版 (『第4巻 第3節 性格、症状・心理等に関する検査』担当：高齢・障害者・求職者雇用開発機構編・出版 (2019年)
- (3)心理劇入門—理論と実践から学ぶ (『第2章 第1節 心理劇の基礎概念 ソシオメトリー』担当：慶応義塾大学出版会 2020年

学術論文

- (1)プレイセラピーにおけるサープラス・リアリティー不登校傾向の小6女児の事例から—：教職実践センター研究紀要第8号 2020年 pp.51-62 共著者 秋葉泰輔
- (2)基調講演『心理劇との出会いと今日の私—M. ブーバーと J.L. モレノに導かれて—：第26回日本心理劇学会栃木大会 大会抄録集 2020年 pp.10～ pp.11
- (3)リワーク支援での心理劇の展開：第26回日本心理劇学会栃木大会 大会抄録集 2020年 p14
- (4)「資質」領域でのコミュニケーション・スキルと A.Adler 共同体感覚の相互性—レジリエンス「資質」「獲得」2因子による検討—：作大論集 第13号 2021年8月30日 pp.93-112 共著者 小野崎瑛美
- (5)stata nascendi (生まれいずる状況) から見える心理劇の地平—第26回日本心理劇学会栃木大会「共通点を求めて」—：『心理劇』第26巻 2021年12月 pp.7-14

社会活動

- (1)栃木県臨床心理士会理事 (2014年～現在に至る)
- (2)上都賀地区スクールカウンセラースーパーバイザー (2014年から現在)
- (3)日本心理劇学会理事 (2020年～現在に至る)
- (4)第26回日本心理劇学会栃木大会 大会長 基調講演、大会シンポジウム司会 (2020年10月24日・25日)
- (5)栃木県臨床心理士会性的マイノリティ電話相談部長 (栃木県委託事業) (2021年)
- (6)宇都宮市子ども未来課 いじめ調査委員会会長 (2021年)

人間文化学部 准教授 川原健太郎

学術論文

川原健太郎「府中における社会人ラグビーチームの創設と展開—東芝ブレブルーパスとサントリーサンゴリアスを対象として—」府中市史編集委員会編「新 府中市史研究 武蔵府中を考える」第2号、府中市、2020年2月、pp.7-22。

川原健太郎「小・中学校社会科の学習指導要領における教具・教材の変遷に関する研究」、「早稲田大学教育学会紀要」21号、早稲田大学教育学会、2020年3月、pp.65-72。

川原健太郎「『ラグビーのまち府中』の歩みと諸相—地域文化としてのラグビーの視点から—」、府中市史編集委員会編「新 府中市史研究 武蔵府中を考える」第3号、府中市、2021年2月、pp.15-24。

川原健太郎「地域文化運動における教師の役割に関する研究—戦後の書く実践を対象にして—」、「作大論集」第12号、作新学院大学作新学院大学女子短期大学部、2021年2月、pp.37-54。

川原健太郎「学校と地域の連携・協働による教育実践に関するケーススタディー—地域課題解決型キャリア教育「烏山学」を対象として—」、「早稲田大学教育学会紀要」第22号、早稲田大学教育学会、2021年3月、pp.24-31。

川原健太郎「授業における板書活用に関する実践研究」、「教職実践センター研究紀要」第9号、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部、2021年2月、pp.23-32。

川原健太郎、玉城要「課題提示型授業に関する実証的研究」、「作大論集」第13号、作新学院大学作新学院大学女子短期大学部、2021年8月、pp.53-68。

学会での口頭発表等

「『自分史』における家族の記述に関する研究」、日本社会教育学会 第67回研究大会、オンライン開催、2020年9月。

「書く実践における手紙の研究—「ふだん記」を対象として—」、日本社会教育学会 第68回研究大会、オンライン開催（運営校・明治大学）、2021年9月。

その他

（講演録）「戦後史における「ふだん記」各地グループの意義」、「札幌のふだんぎ」第53号、ふだん記札幌グループ、2020年5月、pp.121-141。

（研究報告書）「私立大学の教員養成の役割に関する実証的研究—私立大学出身教員の「自分史」に焦点を当てて—」、作新学院大学令和2年度教育研究開発改善経費研究 研究報告書、2021年3月。

（書評）「小林史・小林千枝子『母と娘の物語』」、「教職実践センター研究紀要」第9号、作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部、2021年2月、pp.63-64。

（エッセイ）「橋本義夫「マイナスをプラスにする」考」、「みちのくふだん記」80号、ふ

だん記みちのくグループ、2021年3月、pp.22-25。

(書評) 川原健太郎 「窪全亮と小俣勇」特別展示実行委員会編『窪全亮と奚疑塾・小俣勇と和算塾～市民の研究発表～』、公益財団法人たましん地域文化財団「多摩のあゆみ」第184号、2021年11月、pp.102-103。

社会的活動

府中市史編さん専門部会委員 (2016年12月～現在に至る)

西東京市社会教育委員 (2017年7月～現在に至る)

講演「戦後史における「ふだん記」各地グループの意義—社会教育の視点から—」、第36回北海道ふだん記交流会札幌大会、於ホテルライフォート札幌、2019年6月23日。

令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会講師「社会教育のあるべき姿について～地域人材、学校、行政との協働(連携)事例から学ぶ～」、於イングリッシュビル、2020年10月23日。

八王子市立由井中学校「ICT教育授業」講師、於八王子市立由井中学校、2021年10月27日。

人間文化学部 准教授 木村雅史

学会での口頭発表等

- (1) 「対面的相互行為とメディア経験——ゴフマンの『状況の定義』論の観点から」：2019年度第1回東北社会学会研究例会 (於・東北大学)，2019年6月8日。
- (2) 「コミュニティカフェと高齢者の当事者性——仙台市郊外A市のコミュニティカフェ事業の事例から」：第17回福祉社会学会大会 (於・明治学院大学)，2019年6月16日。
- (3) 「メディア経験とフレーム——ゴフマンの「状況の定義」論の観点から」：第66回東北社会学会大会 (於・東北大学)，2019年7月15日。
- (4) 「地域差による介護予防事業の類型化——宮城県X市を事例に」：東北都市学会2019年度大会 (於・秋田市文化会館)，2019年11月24日，大井慈郎。
- (5) 「地域づくりによる介護予防事業と社会参加の現状と課題」：日本都市学会2020年度大会 (オンライン形式)，2020年11月1日，大井慈郎。
- (6) 「コミュニティカフェにおける活動の定義と主体的参加——仙台市郊外X市におけるコミュニティカフェ事業の事例より」：第94回日本社会学会大会 (オンライン形式)，2021年11月13日。
- (7) 「ステイグマの可視性／不可視性と権力作用」：2021年度東北社会学研究会大会シンポジウム (オンライン形式)，2021年12月4日。

社会的活動

(1) 宇都宮市民大学専門講座Ⅱ「今を読み解く現代社会コース」講師「地域における居

場所づくり——コミュニティカフェや高齢者サロンの事例から」(2020年12月7日、
於・宇都宮市中央生涯学習センター)

人間文化学部 特任教授 木村直人

論文

- (1)「18歳選挙権の成立と学校における主権者教育」再訂版 教員免許更新講習・選択講習「青年の社会的自立と主権者教育」テキスト第2部 2019年8月 pp.21-65
- (2)「新学習指導要領のもと、発達段階に応じた主権者教育の在り方についてⅠ—アンケート調査報告—」栃木県連合教育会研究紀要第154集 2020年1月 pp.1-7
- (3)「新小学校学習指導要領に基づく社会科第3学年『火事からくらしを守る』の授業」教職実践センター研究紀要第8号 2020年2月 共著 pp.83-92
- (4)「18歳成年に伴う『生徒指導及び進路指導』の課題」作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教職実践センター研究紀要第9号 2021年2月 pp.53-62
- (5)「18歳選挙権・18歳成年成立の経緯と、新学習指導要領改訂に際して、学校教育に求められた主権者教育・消費者教育の充実について」教員免許更新講習・選択講習「子どもの社会的自立と社会参画—発達段階に応じた主権者教育・消費者教育を中心に—」テキスト第2部 2021年8月 pp.27-58
- (6)「新学習指導要領のもと、発達段階に応じた主権者教育の在り方Ⅱ・Ⅲ—小・中・高・特別支援学校における実践に向けた提言・提案として—」栃木県連合教育会研究紀要第155集 2022年1月 pp.1-6, 103-108
- (7)「主権者教育で期待される NIE」日本新聞協会 NIE ニュース第99号 2022年2月 pp.1

口頭発表

- (1)「新学習指導要領のもと、発達段階に応じた主権者教育の在り方についてⅢ 健全な主権者としての意識を育むために ～高校生への主権者教育～」栃木県教育研究発表大会2020年1月24日 大会要項 p.4
- (2)「主権者として求められる力を育むために ～新学習指導要領のもと、発達段階に応じた主権者教育の在り方」栃木県教育研究発表大会 2022年1月28日 大会要項 p.2

社会的活動

- (1)公益財団法人栃木県育英会 評議員選定委員会 委員 (2014年4月1日～現在に至る)
- (2)学校法人作新学院 評議員 (2016年4月1日～現在に至る)
- (3)高校生に対する主権者教育「18歳選挙権 あなたも主権者」等の実施 (2016年4月～現在に至る)
栃木県立宇都宮清陵高等学校、作新学院高等学校、栃木県立高根沢高等学校、

- 茨城県立多賀高等学校、栃木県立小山南高等学校、栃木県立鹿沼東高等学校、
 栃木県立宇都宮商業高等学校、佐野日大中等教育学校
- (4)大学・短大生に対する主権者教育「18歳選挙権 あなたも主権者」や栃木県選挙管理委員会と選挙啓発活動の実施（2016年6月～現在に至る）
- (5)栃木県連合教育会主権者教育研究部会長（2017年4月～現在に至る）
- (6)宇都宮市もったいない運動市民会議委員（2017年4月～現在に至る）
- (8)総務省主権者教育アドバイザー（2017年11月～現在に至る）
- (9)主権者教育指導者講習会講師「新学習指導要領と主権者教育について」（2019年5月17日）福井県教育委員会
- (10)政治的教養を育む教育に係る研修講師「新学習指導要領と主権者教育について」（2019年5月27日）茨城県教育委員会・茨城県選挙管理委員会
- (11)系統性を踏まえた社会科・地理歴史科・公民科研修講座講師「新学習指導要領と主権者教育について」（2019年8月5日）茨城県教育研修センター
- (12)芳賀郡市中学校長会研修会講師「今日的な教育課題への対応について～今日的な教育課題に対する取組等について、中高の接続や連携という視点から～」（2019年9月3日）芳賀郡市中学校長会
- (13)第14回明るい選挙推進大会及び市区町村明るい選挙推進協議会会長等研修講師「主権者教育の現状と教育現場との連携について」（2020年2月6日）宮城県選挙管理委員会
- (14)栃木県立富屋特別支援学校学校評議員（2020年4月～現在に至る）
- (15)宇都宮市消費生活審査会委員（2020年4月～現在に至る）
- (16)とちぎの高校生「じぶん未来学」推進事業に係る企画委員会及びプログラム改訂ワーキンググループ委員（2020年7月～現在に至る）
- (17)栃木県市選挙管理委員会連合会講演会講師「新学習指導要領の全面实施とこれからの主権者教育・啓発活動の課題～主権者教育推進会議最終報告を踏まえて～」（2022年2月8日）栃木県市選挙管理委員会連合会

人間文化学部 特任教授 佐久間宏

学術論文

- (1)特別支援学校の教育機能とその構造：作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教職実践センター研究紀要 第7号 pp.13-22 2019.2
- (2)知的障害を伴う人の生きがいに関する研究：作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教職実践センター研究紀要 第8号 pp.33-42 2020.2
- (3)知的障害を伴う人の就労に関する事例研究：作新学院大学・作新学院大学女子短期大

学部 教職実践センター研究紀要 第9号 pp.13-22 2021.2

(4)子どもたちの自立と自律のために：佐久間研究室論文集（作新学院大学）2021.3

社会的活動

- (1)平成25年4月～令和元年6月 公益財団法人飯塚毅育英会奨学生選考委員
- (2)平成29年7月～平成30年2月 栃木県「平成29年度防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」推進委員
- (3)平成30年6月～平成31年2月 栃木県「平成30年度学校安全総合支援事業」推進委員
- (4)令和3年4月～現在 栃木県立特別支援学校運営会議委員長

人間文化学部 特任教授 野村勝彦

著書

(1)分担執筆

- ・第6章第7節 障害のある子どもへの生徒指導 『中学・高校教師になるための教育心理学（第4版）』心理科学研究会編 有斐閣 2020年4月10日 230-236.
- ・第7章第2節 教師の悩みと成長 『中学・高校教師になるための教育心理学（第4版）』心理科学研究会編 有斐閣 2020年4月10日 242-248.
- ・第7章第3節 教師集団のなかでの教師の成長 『中学・高校教師になるための教育心理学（第4版）』心理科学研究会編 有斐閣 2020年4月10日 249-255.
- ・第8章1 障害者における課題と法整備 『福祉心理学』日本福祉心理学会編 明石書店 2021年10月20日 172-180.
- ・一口メモ（ハローワーク他）『福祉心理学』日本福祉心理学会編 明石書店 2021年10月20日 182.

学術論文

(1)〔単著〕

- ・南米エクアドル共和国の特別支援教育の現状と課題（その3）－インクルーシブ教育の実施状況について－：教育学論集 中央大学教育学研究会 2019年3月22日 第61集 pp.279-311.
- ・南米エクアドル共和国の特別支援教育の現状と課題（その4）－インクルーシブ教育の理念と実際－：教育学論集 中央大学教育学研究会 2020年3月10日 第62集 pp.245-281.
- ・南米ペルー共和国の特別支援教育の現状と課題（その1）－COVID-19以前の通常教育課程とインクルーシブ教育システム－：教育学論集 中央大学教育学研究会 2021年3月 第63集 287-332.
- ・インクルーシブ教育を再構築する教育促進カリキュラム －途上国エクアドル共和国

から学ぶー：発達障害研究 日本発達障害学会 2021年 2月 第42巻 4号 316-322.

学会での口頭発表等

- ・多動・他害傾向のあるダウン症児童の福祉心理（子どものウェルビーイング）に関する事例：日本福祉心理学会第17回大会 2019年11月23日 日本福祉心理学会発表論文集 宮本文雄・野村勝彦.
- ・強迫性障害のある青年（A男）の福祉心理（社会参加を目指しての努力）に関する事例：日本福祉心理学会第18回大会 2020年12月5日 日本福祉心理学会発表論文集 宮本文雄・野村勝彦.

社会的活動

- (1)日本福祉心理士会認定委員会委員・幹事（2015.9～現在に至る）
- (2)日本福祉心理学会理事（2019.7～現在に至る）
- (3)一般社団法人障害児・者の自立を図る桐親会 虐待防止委員嘱託（2016.9～現在に至る）
- (4)社会福祉法人わかざり 評議員嘱託（2017.6～現在に至る）

人間文化学部 特任教授 村松和彦

学術論文

【単著】

- (1)「ノート：学習指導要領道徳科における小中学校の連携について」作新学院大学「作新学院大学を拠点とした小学校及び中学校における道徳科指導の連携強化に係る指導法の開発とアーカイブ化に関する研究」, 2021年 3月
- (2)「造形遊びと元型論」作新学院大学「作大論集」第12号, 2021年 2月, pp.21-36
- (3)「子供の無意図, もしくは神」作新学院大学「作大論集」第10号, 2020年 2月, pp.33-42
- (4)「祭祀としての造形遊び—子供達の自然発生的な造形遊びは祭祀性を持つか—」作新学院大学「作大論集」第9号, 2019年 3月, pp.37-45

【共著・編集】

- (1)「道徳科授業において子供の思考を言語化するために」とちぎ道徳教育実践学会「言語教育振興財団紀要」, 2021年 3月
- (2)「道徳の授業で, 学習者の『切実さ』を問題化する」とちぎ道徳教育実践学会「言語教育振興財団紀要」, 2020年 3月

人間文化学部 講師 杉原聡子

著書

- (1)分担翻訳『家庭や地域における発達障害のある子へのポジティブ行動支援 PTR-F——子どもの問題行動を改善する家族支援ガイド——』（2019年9月20日）分担翻訳者名：
神山 努・庭山和貴（監訳）安藤世莉奈・館 真里子・廣瀬真理子（訳）

学術論文

- (1)「目標行動選定用シートを用いた短縮版ペアレント・トレーニングの試み」：人文論究, vol.67, No.1, pp.43-60. 2017年 杉原聡子・米山直樹
- (2)「目標行動選定用シートを用いた短縮版ペアレント・トレーニングの試み(2)」：人文論究, vol.68, No.1, pp.175-187. 2018年 杉原聡子・米山直樹
- (3)「注意欠如多動症の男児の登校行動と宿題行動に対するトークン・エコノミーの適用による家庭内支援の検討」行動分析学研究, vol.34, No.1, pp.45-52. 2019年 杉原聡子・米山直樹

学会での口頭発表等

- (1)「『書く』ことへの合理的配慮 —行動を基盤とした評価と支援—（自主シンポジウム）」日本発達心理学会第28回大会 2017年3月
- (2)「心理検査の伝え方4（自主シンポジウム）」日本心理臨床学会第38回大会 2019年6月
- (3)「トークンエコノミー：研究の現状と課題—システムの有効性の検証—（自主シンポジウム）」日本行動分析学会第37回年次大会 2019年8月

社会的活動

- (1)宇都宮市教育委員会「小学校スクールカウンセラー」（2018年4月～2020年12月）
- (2)那須烏山市教育委員会「巡回相談員」（2019年5月～現在に至る）
- (3)栃木県児童養護施設等連絡協議会「新任・若手研修講師」（2019年4月～現在に至る）

女子短期大学部幼児教育科 教授 坪井真

著書

- (1)第4章「社会福祉の民間活動」：社会福祉の拡大と形成 [編著者] 井村圭壯・今井慶宗 勁草書房 2019年12月 pp.45-52
- (2)第2章「社会的養護の歴史」：現代の保育と社会的養護 I [編著者] 井村圭壯・今井慶宗 勁草書房 2020年1月 pp.11-20

学術論文

- (1)戦時下の日本における厚生事業と家族の社会的役割(1)：作大論集 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 2019年3月15日 9号 pp.135-149

- (2)戦時下の日本における厚生事業と家族の社会的役割(2)：作新学院大学女子短期大学部
研究紀要 作新学院大学女子短期大学部 2019年3月15日 2号 pp.21-30
- (3)戦時下の日本における厚生事業と社会連帯思想：鴨台社会福祉学論集 大正大学社会
福祉学会 2019年3月15日 28号 pp.1-8
- (4)近代期の日本における福祉思想の社会構造史(1)―研究序説―：作大論集 作新学院大
学・作新学院大学女子短期大学部 2019年3月15日 10号 pp.139-150
- (5)近代期の日本における福祉思想の社会構造史(2)―先行研究における史観の考察―：作
新学院大学女子短期大学部研究紀要 作新学院大学女子短期大学部 2019年3月15日
3号 pp.11-20
- (6)近代期の日本における福祉思想の社会構造史(3)―作業仮説と分析枠組みの検討― 作
大論集 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 2019年8月31日 11号
pp.111-121
- (7)近代期の日本における福祉思想の社会構造史(4)―明治期の神道に内在する倫理思想の
特徴①―：作新学院大学女子短期大学部研究紀要 作新学院大学女子短期大学部
2020年12月28日 4号 pp.25-34
- (8)近代期の日本における福祉思想の社会構造史(5)―明治期の神道に内在する倫理思想の
特徴②―：作大論集 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 2021年3月15日
12号 pp.125-131
- (9)近代期の日本における福祉思想の社会構造史(6)―明治期における社寺関連法令の特性
分析―：鴨台社会福祉学論集 大正大学社会福祉学会 2021年3月15日 29号
pp.62-69
- (10)近代期の日本における福祉思想の社会構造史(7)―明治期の教導職制と神社の社格を主
題とした先行研究の成果と課題―：作大論集 作新学院大学・作新学院大学女子短期
大学部 2021年8月30日 13号 pp.215-232
- (11)近代期の日本における福祉思想の社会構造史(8)―明治・大正期に創設されたキリスト
教社会事業の通時的特徴の分析―：作新学院大学女子短期大学部研究紀要 作新学院
大学女子短期大学部 2021年12月28日 5号 pp.

社会的活動（自治体・産学界・NPO・NGO等の活動）

- (1)栃木県社会福祉協議会 評議員（2019年度～現在に至る）
- (2)とちぎ第三者評価推進機構 基準等部会 委員（2019年度～現在に至る）
- (3)社会福祉法人栃木県社会福祉協議会における福祉サービスに関する苦情解決における
第三者委員（2019年度～現在に至る）
- (4)とちぎ第三者評価推進機構 評価調査者研修 講師（2019年度～現在に至る）
- (5)千葉県コミュニティソーシャルワーカー基礎研修 講師（2019年度～現在に至る）

- (6)宇都宮市社会福祉施設等事業者選考専門委員 (2019年度～現在に至る)
- (7)浦安市市民後見人養成事業研修 講師 (2019年度～現在に至る)
- (8)栃木県児童館職員等研修 講師 (2019年度)
- (9)栃木県シルバー大学校 講師 (2019年度)
- (10)千葉県地域包括支援センター職員研修 講師 (2019年度)
- (11)前橋市民生委員・児童委員協議会研修 講師 (2019年度)
- (12)浦安市地域福祉活動計画策定委員会 委員長 (2019年度)
- (13)栃木県児童養護施設職員等上級職員研修 講師 (2019年度～現在に至る)
- (14)千葉県コミュニティソーシャルワーカー専門研修 講師 (2020年度～現在に至る)
- (15)三芳町地域福祉計画策定委員会 副委員長 (2020年度)
- (16)長野県社協職員基礎研修 講師 (2020年度～現在に至る)
- (17)浦安市支部社協活動計画策定にかかる研修会 講師 (2020年度)
- (18)栃木県保育士等キャリアアップ研修 講師 (2020年度)
- (19)長野県松本ブロック社会福祉協議会職員研修会 講師 (2020年度)
- (20)群馬県内市町村社協トップセミナー 講師 (2020年度)
- (21)浦安市社会福祉協議会 評議員 (2021年度)
- (22)特定非営利活動法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事 (2021年度)
- (23)群馬県内社協職員連絡協議会ステップアップ研修会 講師 (2021年度)
- (24)三芳町地域福祉活動計画策定委員会 アドバイザー (2021年度)
- (25)群馬県地域共生社会の実現に向けた取組促進事業 地域共生社会推進セミナー 講師 (2021年度)
- (26)さくら市民大学 子育てサポーター講座 講師 (2021年度)

短期大学部 准教授 宍戸良子

著書

【分担執筆】

- (1)「実習08 記録(実習日誌)の書き方・まとめ方を学ぶ」『教育・保育実習テキストブック:幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園』建帛社 2020年5月 小泉裕子・園田巖・綾牧子・内田裕子・桐川敦子・幸喜健・近喰晴子・宍戸良子・清水道代・舟生直美・山本詩織
- (2)「【幼稚園教育】保育の方法・計画・環境「保育の記録」,保育思想・歴史「レッジョ・エミリア」」『小学校教育用語辞典』ミネルヴァ書房 2021年5月 細尾萌子・柏木智子ほか

学術論文

- (1)「自己課題の明確化に焦点を当てた保育実習指導Ⅱの効果」：作新学院大学女子短期大学部研究紀要 作新学院大学女子短期大学部 2019年12月27日 第3号 pp.1-10
矢野善教・長澤順・村松和彦・設楽紗英子・宍戸良子
- (2)「保育のPDCAサイクルと保育実践力の向上に焦点を当てた「保育実習指導Ⅱ」の開発」：作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教職実践センター紀要 2020年2月28日 第8号 宍戸良子・長澤順・村松和彦・吉澤麻衣・設楽紗英子・矢野善教

学会での口頭発表等

- (1)「ラーニング・ストーリーを取り入れた子育て支援プログラム(1)－子どもの学びを捉える視点をいかに保護者と共有するか－」：日本保育学会第72回全国大会 2019年5月5日 日本保育学会第72回大会発表要旨集録(DVD) 宍戸良子・丸橋亮子
- (2)「ラーニング・ストーリーを取り入れた子育て支援プログラム(2)－子どもの主体的な学びの可視化を目指した遊び環境と展開－」：日本保育学会第72回全国大会 2019年5月5日 日本保育学会第72回大会発表要旨集録(DVD) 丸橋亮子・宍戸良子
- (3)「保育現場と保育者養成校の協働によるドキュメンテーションを活用した子ども理解の実践研究」：平成30年度大学コンソーシアムとちぎ 2019年9月30日 平成30年度大学コンソーシアムとちぎ「大学を超えた共同研究支援事業」HP掲載 宍戸良子・小栗貴弘・伊藤美帆・齋藤貴子・高橋佐由美・渡部ゆかり

社会的活動

- (1)保育士等キャリアアップ研修「幼児教育」分野における講師(2019年：全4回、2021年：全3回)
- (2)幼保連携型認定こども園愛泉幼稚園園内研修の講師(2021年8月28日)
- (3)公益財団法人とちぎ未来づくり財団評議員(2017年12月～現在に至る)

幼児教育科 専任講師 矢野善教**著書**

- (1)第12章 地域の専門機関や関係機関との連携：特別支援教育・障害児保育入門 咲間まり子(編著) 建帛社 2020年4月15日 pp.119-126
- (2)第4章 差別や偏見、生きづらさと向き合う 第5節 今日この場所にあり続けること－障害をもつ人が働く喫茶コーナーの30年－障がいをもつ人の生涯学習支援：インクルーシブな学びを求めて 24の事例 小林繁・松田泰幸・月刊社会教育編集委員会(編) 旬報社 2021年7月25日

学術論文

【単著】

- (1)保育実習Ⅰ（施設）の一環としての施設見学の効果の検討 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教職実践センター研究紀要 2020年2月28日 第8号 pp.43-50
- (2)「障害児保育」のオンライン授業の取り組み－疑似体験を通して－ 作新学院大学女子短期大学部研究紀要 Vol.4 2020年12月27 pp.1-10

【共著】

- (1)自己課題の明確化に焦点を当てた保育実習指導Ⅱの効果：作新学院大学女子短期大学部研究紀要 作新学院大学女子短期大学部 作新学院大学女子短期大学部 2019年12月27日 第3号 pp.1-10 長澤淳・村松和彦・設楽紗英子・宍戸良子
- (2)保育のPDCAサイクルと保育実践力の向上に焦点を当てた「保育実習指導Ⅱ」の開発 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部教職実践センター研究紀要 2020年2月28日 第8号 pp.23-32 宍戸良子・長澤順・村松和彦・吉澤麻衣・設楽紗英子
- (3)カフェを地域に開く－特別支援学校における接客サービスの現状と課題－ 明治大学社会教育主事課程年報 明治大学社会教育主事課程 2020年3月31日 第29号 pp.59-72 兼松忠雄・春口明郎・河端歩
- (4)オンライン授業を用いた保育実習指導Ⅱの実践と評価 作新学院大学女子短期大学部研究紀要 Vol.4 9-18 2020年12月27日 設楽紗英子,長澤順,吉澤麻衣,矢野善教 高等学校における特別支援教育の現状と課題－校内支援体制・校外連携・通級による指導を通して－ 作大論集 Vol.13 125-138 2021年8月 矢野善教・小栗貴弘・小栗香奈子

学会での口頭発表等

- (1)ポスター発表 特別支援学校における接客サービスの現状と課題(1) 日本特殊教育学会第57回大会 2019年 河端歩
- (2)ポスター発表 特別支援学校における接客サービスの現状と課題(2) 日本特殊教育学会第57回大会 2019年 河端歩
- (3)ポスター発表 子育て支援「わいわいひろば」の活動を取り入れた保育実習指導Ⅱの指導効果 日本保育学会第73回大会 2020年 宍戸良子・設楽紗英子
- (4)ポスター発表 子育て支援「わいわいひろば」の活動を取り入れた保育実習指導Ⅱの指導効果における学生の自己評価 日本保育学会第73回大会 2020年 宍戸良子・設楽紗英子
- (5)「地域に溶け込む学校カフェ」特別支援学校喫茶の可能性 全国喫茶コーナー交流会 2020年10月18日 諏訪肇・小林繁・兼松忠雄
- (6)カフェを介した「共生の学び」の実践 令和2年度共に学び、共に生きる共生社会コンファレンス～地域で共生の生涯学習を展開するために～ 2021年1月17日 文部科学省 兼松忠雄,諏訪肇,根本尚之,矢野善教

- (7)保育者養成校短期大学生の気になる子どもに対する個別の保育・指導計画の立案までの過程 日本特殊教育学会第59回大会 2021年9月20日

社会的活動

【派遣巡回相談員】

- (1)埼玉県熊谷市特別支援教育（小中学校・幼稚園・保育園）巡回相談員（2011年～現在に至る）
- (2)埼玉県入間市不登校対策事業スーパーヴァイザー（2013年～現在に至る）
- (3)埼玉県越谷市発達支援訪問巡回相談員（2013年～現在に至る）
- (4)埼玉県立高等学校特別支援教育巡回相談員（2013年～現在に至る）
- (5)埼玉県戸田市発達支援巡回相談員（2020年～現在に至る）
- (6)埼玉県入間市なるほど講演会 講師（2018年1月25日）
- (7)埼玉県立北本高等学校校内研修会「発達障害の理解と支援」 講師（2018年8月23日）
- (8)第38回全国障害者技能競技大会 技能競技補佐員（2018年11月1日～4日）
- (9)埼玉県入間市なるほど講演会「教師と保護者の関わり方について」 講師（2019年1月29日）
- (10)埼玉県立浦和工業高等学校校内研修会「発達障害の生徒が工業について学ぶためには、どのようなことをやっていくべきか？」 講師（2019年2月7日）
- (11)埼玉県教育局管理職研修「中学校から高等学校における発達障害支援のあり方について」 講師（2019年7月30日）
- (12)埼玉県立草加かがやき特別支援学校進路講演会「未来に輝く自己理解」 講師（2019年10月30日）
- (13)埼玉県入間市なるほど講演会「不登校・登校しぶりの児童生徒への関わり方について」 講師（2019年11月12日）
- (14)第39回全国障害者技能競技大会 技能競技補佐員（2019年11月15日～17日）
- (15)埼玉県立上尾橘高等学校インクルーシブ教育研修会「高等学校における発達障害支援のあり方について」 講師（2019年11月27日）
- (16)埼玉県入間市教育委員会スクールリーダー（学校経営）研修会「不登校・登校しぶりの児童生徒への関わり方」 講師（2020年1月17日）
- (17)第15全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in とちぎ「【多様な学び】市民による学校づくり～多様な“学び”とは何か～」コーディネーター（2020年2月15日～16日）
- (18)埼玉県立北本高等学校特別支援教育校内研修会「自閉症スペクトラムの特性と対応について」 講師（2020年8月26日）
- (19)埼玉県教育庁特別支援教育課県立特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会「高等学校における特別支援教育の現状と課題～センター的機能の充実に向けて～」

講師（2020年11月10日）

(20)埼玉県入間市教育委員会なるほど講演会「不登校児童生徒への組織的な支援について」 講師（2020年11月10日）

(21)第40回全国障害者技能競技大会技能競技補佐員（2020年11月12日～15日）

(22)埼玉県立小鹿野高等学校校内研修会「発達障害のある生徒との関わり方」（2021年3月18日）

(23)栃木県連合教育会不登校セミナー「行動療法に基づく不登校対応」（2021年7月18日）